

同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成フェローシップ採用学生に 登録履修を求めるキャリア形成科目

同志社大学大学院博士後期課程若手研究者育成フェローシップ(以下、「DFS」という)に採用された学生には、社会の一員として、自身の研究の社会との接点を考察し、研究成果を社会に還元していくために、必要な知識や能力を身につけることが求められています。

同志社大学大学院には、多文化共生(GRM)、Society 5.0(Comm 5.0)や環境(「次の環境」協創)等の人類共通の重要課題をテーマにする教育プログラムがあり、2021年度には大学院における共通教育として、アドバンスト・リベラルアーツ科目群(ALA科目群)を開設し、先端科学技術や社会政策、経済政策に限らず、身体・生命、地理、地政、歴史、文化、宗教、文学などの多様な知恵を糾合した文理融合教育を推し進めています。

DFSに採用された皆さんには、これらのプログラムを通じて、発想力を高め、異なる考え方を調整し、全体をまとめる力(『協働する能力を高める』)を身につけ、自身の研究を社会の変化に対応させていく知識・技術の幅(『知覚を磨く』)を広げていただくことを願っています。

1. 登録履修を義務付ける科目

(1) 『協働する能力を高める科目』(必修6単位)

本学高等研究教育院のALA科目群から、次の3科目を履修すること。

- ① Capacity Development for Coexistence and Cooperative Works もしくは、
Group Work Practice I (Multi-perspective approach on complex problems)
- ② セルフアウェアネス(コーチング入門)
- ③ フューチャーデザイン演習

(2) 『知覚を磨く科目』(選択必修6単位)

研究指導教員と相談の上、高等研究教育院のALA科目群、GRM科目、Comm 5.0科目や他研究科・専攻科目より3科目を履修すること。

2. 登録履修単位数

フェローシップ給付期間(3年間)中は、各セメスター最低2単位(1科目)、計12単位(6科目)の科目履修を求める。ただし、研究計画上、D3での科目履修が困難な場合は、D1からD2の期間に12単位(6科目)履修することも可能とする。

3. コースとしての履修奨励

上記科目に加え、次のプログラムに設置する科目を体系的に履修し、プログラムの修了を目指すことを推奨する。

- ① GRM
- ② Comm 5.0
- ③ 「次の環境」協創

4. 科目履修以外の取組

DFSに採用された学生には、自身のキャリアパスを明確にする過程において、博士前期(修士)課程学生のキャリア支援や大学院共通科目の運営に積極的に関わること。

【具体的取組】

大学院生のキャリア形成を目的とするセミナー、企業交流会や研究発表会等の企画・運営
ALA科目群の授業の中で用いる材料、新技術収集等

5. その他

高等研究教育院に設置する科目(ALA科目群、GRM科目、Comm 5.0科目)についての情報はプログラム履修要項やホームページで確認して下さい。

HP : <https://next.doshisha.ac.jp/>